



## 第1地域 ロータリーコーディネーター補佐 中里 公造（川口モーニング RC）

- 1.例会で点鐘するのは規則でしょうか？
- 2.例会で会長挨拶はしないといけないの？
- 3.例会は1時間と決まっているの？
- 4.ロータリー年度は何故7月に始まって6月に終わるのでしょうか。新会員に尋ねられたとききちんと説明できますか？

次年度のガバナー補佐の皆さんへの問い掛けです。昨年度からロータリーの研修方法が従来のトレーニングから参加者が中心となるラーニングに変更になったことを踏まえた質問でした。参加者の次年度ガバナー補佐の皆さんに考えていただきながら自身で「学ぶ」を強調しました。それなりにロータリー経験のある皆さんでしたが、通常の研修と違い今さら聞けないと思われる質問に様々な意見が出て大いに盛り上がりました。



上記の1・2・3について、私が入会した当時先輩に尋ねたところ、「ロータリーの規則だよ」規則を読んでしっかり勉強しておくように。とだけ言われ「教えてください」と尋ねたところ回答は「勉強すれば今に分かるよ」とだけであったことを今でもよく覚えています。

しかし、手続要覧を見てもクラブ定款にもクラブ細則にも一言も記載はありませんでした。例会で点鐘をするということはロータリーの規則としてはどこを探しても見当たりません。

会長挨拶も同じですし、挨拶をしないクラブもあります。また、クラブ会長の役割の最初には「会長は例会の司会を務める」となっています。

私が入会した当時は今のようにネット環境もなく、ロータリーについて学ぶには大変でした。そんな中先輩から教えていただくということが、貴重な情報源であったように思います。例会時間はクラブ細則で決めるものですが、1時間というのはロータリーの規則だ、といまだに信じている方が少なくありません。それも歴の古いロータリアンにその傾向が多いように感じます。

現在 MY ROTARY のラーニングセンターには、ロータリーに関する様々な立場の人が学ぶ資料が用意されています。クラブレベルは元よりや地区レベルでも出来ないことがラーニングセンターにはあります。

私たちは RI に高い会費(人頭分担金)を支払っていますが、一度でもラーニングセンターでの学びを体験した人は凄いとされるに違いありません。それだけのものが用意されています。但し、何人の方がラーニングセンターの資料を使って学びを体験されたでしょうか？残念ながら非常に少ないというのが私の印象です。

ラーニングセンターを活用することにより、それぞれの役職に於いて新しいスキルを学びロータリーの新たな知識を身に付け、ロータリーの更なる高みを目指しましょう。



## 第2地域 カルガリー国際大会 日本推進チームメンバー 樋口 明（神奈川 RC）

カルガリーへの誘い「GOING TO MOH' KINSTSIS」モーキンスツイスへ！

2025年6月21日から25日まで、カナダのカルガリーで開催されます国際大会について、「ロータリーの友10月号」で10頁にわたって特集が組まれております。

ゲール語で「輝く水」を意味する「カルガリー」の歴史、風土、街並み、味覚、娯楽と読み進むにつれて、いつの間にか「世界で最も友好的な街」に舞い降りた気持ちになりました。まだお読みになっておられない方は是非ご一読いただき、カルガリーで最高に楽しんでいるイメージを目一杯膨らませましょう！



「日本人親善朝食会」(6月22日朝)の会場がハイアット リージェンシー カルガリーに決まりました。異国の美しい街での日本のロータリー会員同士の交流は、一際親近感が湧く格別なものです。詳細につきましては、後日ご案内いたしますので、是非ご参加ください。

「カルガリーハット」を被って、大いに盛り上がりましょう！

現在、深尾兼好第3地域ロータリー公共イメージコーディネーター補佐にご協力いただき、「カルガリーハット」を製作中です。昨年度のシンガポール国際大会でも感じましたが、国際大会の開会セッションの各国紹介では、例年我々日本チームは他国勢の勢いに圧倒されてしり込みしていると思いませんか？カルガリーでは、お揃いのハットを被ってTEAM JAPANの心意気を見せましょう。また、国際大会への参加者推進にもご活用くださいますようお願い申し上げます。詳細につきましては、12月の「第53回ロータリー研究会」でご説明いたします。



皆様、登録はお済みでしょうか？

登録料の早期割引料金(\$525)は12月15日までです。

その後は、2025年3月31日までは\$625、4月1日以降は\$695 になりますので、是非、お早めにご登録ください。

日本推進チームメンバーが、皆様のお手伝いをいたします。

国際大会に関するご相談、ご質問がございましたら、どうぞ遠慮なさらずいつでもご連絡ください。よろしくお願い申し上げます。

第1地域 伊藤三之(山形北RC) [lawyer-i@js7.so-net.ne.jp](mailto:lawyer-i@js7.so-net.ne.jp)

第2地域 樋口 明(神奈川RC) [higutikk@violin.ocn.ne.jp](mailto:higutikk@violin.ocn.ne.jp)

第3地域 安行英文(三田RC) [mayfairchelsea@icloud.com](mailto:mayfairchelsea@icloud.com)

添付でお送りしたカルガリー国際大会のチラシもご覧ください。



公共イメージについて

### 第3地域 ロータリー公共イメージコーディネーター 丸尾 研一（神戸西神 RC）

RIは行動計画の中に「参加者の基盤を広げる」がありますが、まずはロータリーの認知度を高めなくてはならないと思いますが特効薬はありません。先ず一人ひとりのロータリー会員がロータリーの会合に行くときだけではなく、いつもロータリーバッジを身につける、奉仕活動、イベント等でロータリーグッズを身につける、車にポリオのステッカーを貼る、そしてもっとも大切なのは、ロータリー会員一人ひとりが強力な広報マンであり、一人ひとりが情報を発信することです。私たちはロータリーについて説明するために、いろいろ情報を入手し、適切に説明できなければなりません。私たちがロータリーで経験した感動的な体験について話すことも大切です。普段からコツコツとロータリー会員とクラブが、地道に奉仕活動を続け、認知してもらい、好意をもってもらい、そして今後に期待してもらい、この繰り返しがロータリーブランドの向上に繋がるものと確信しております。



ロータリークラブができたのは、1905年2月23日ですので誕生してから来年で120年になります。ではいつ頃クラブができたのか史書を紐解いていくと、シェイクスピアが出てくる16世紀、彼は劇作家としてロンドンっ子の注目を一身に集めていたテムズ河畔にあった煉瓦造りのホテル「マーメイド・ターバン」のレストランがシェイクスピアの行きつけとわかったと、多くの人がそこに集まりはじめた。シェイクスピアは、自身で役者をつとめたこともあって声が大きく、朗々と愉快地にしゃべる男だったので、彼が店にいることは一目瞭然だった、すると演劇愛好者をはじめ、ついには一杯の酒にありつきたい浮浪者までがテーブルを取り囲み、收拾のつかない騒ぎとなった。「このままでは、親しい友人とゆっくり話し合うこともできない。奥の部屋を借りて、決められた顔ぶれだけで集まるようにしようじゃないか」シェイクスピアの発案によってここにクラブ誕生する。定義が残っています。

「共通の趣味を持つ者が、親しく会合して研鑽をはかり、さらに親睦を深める」。どこか似ていませんか、1592年のことです。それまでも政党的なものはありませんでしたが、本当の意味でのクラブは「マーメイド・ターバン」の奥の部屋でシェイクスピアによって生み出されたと考えられる。その時の顔ぶれを見ると、劇作家、流行作家、探検家、ギリシャ研究者、詩人、当時のロンドンの代表的知識人が集まっていた。どんな議論がでたのか想像するだけで楽しいものです。